

けやきっこだより



令和5年度
都城市立梅北小学校
学校だより No.17
電話 0986-39-4195
Fax 0986-39-4194
文責：平部

3学期が始まりました！

1月9日（火）は、第3学期の始業の日でした。例年の始業日は7日ですので、今年度は昨年度に引き続き、いつもより多少遅めの開始となりました。始業式は、朝の活動の時間を活用し、寒さ対策としてオンラインで実施しました。

3学期は、1年間のまとめの学期、そして次の学年の準備をする学期です。子どもたちに、「1年の計は元旦にあり」という言葉を使って、目標を立ててそれに向かって地道に頑張ることの大切さを伝えたところです。また、校長の願いである「梅北小を笑顔いっぱいの学校にしてほしい。」という思いも伝えました。このような学校にするためのポイントは、自分が友だちからされて嬉しかったことは友だちにすること、逆に自分が友だちからされて嫌だったことや悲しかったことは友だちにしないようにすることです。これが実践できれば、間違いなく「笑顔いっぱいの学校」が実現するのではないかと考えています。学級担任の話によりますと、子どもたちは真剣に話を聞いていたとのこと。そのことを聞いて、改めて子どもたちが自分たちの力で笑顔いっぱいの学校にしてくれるのではないかと期待したところでした。

これから先、まだまだ寒い日が続きますが、風邪等をひくことなく、子どもたちが元気に登校してくれることを願っています。

「大谷翔平選手から贈られたグローブが届きました！」

ニュース等で紹介されていて、御存じの方も多いと思いますが、大谷翔平選手が全国の小学校に贈ったグローブが本校にも届きました。右利き用のグローブが2つ、左利き用のグローブが1つです。始業式の日はこのことを子どもたちに紹介したところです。せっかくなので、全校児童に手にしてほしいという思いから、グローブは1年生から順番に回すことにしました。

今後のこのグローブの取り扱いについては、大谷選手の意思「野球しようぜ！」を尊重し、昼休み時間等に子どもたちに使わせて、一人でも多くの児童が野球に関心をもってもらえればと思っています。



北陸地方を襲った大地震を我がこととして…

令和6年は、石川県の能登半島地震でスタートしました。毎日、ニュースで地震による死亡者や安否不明者数、そして避難所生活を送っている方々の様子が伝えられています。現在も、地震による被害の全体像がつかめないという厳しい状況です。このことから、今回の能登半島地震が東日本大震災に匹敵するくらいの大地震だったことが分かります。

大切な家族を失った悲しみや住む家がなくなって避難所に身を寄せている方々の心中を察すると、胸が引き裂かれるような思いになります。今回の地震で被災された方々は、生きる糧や生きる希望がなくなり、今にも心が折れてしまいそうな状況下で、歯を食いしばって現実と向き合っているのだと思います。家族を失った悲しみを乗り越え、1日も早く日常生活が戻ることを願うばかりです。

宮崎県も「南海トラフ地震」がいつ起こってもおかしくないとされています。子どもたちが学校にいる時に、地震が起こるとは限りません。この機会に子どもたちが家や家以外の場所にいる時に大きな地震が起こったら、どのようにして自分の命を守るのか等について御家庭でもきちんと話し合っておかれることをお勧めします。

梅北小ホームページ
QRコード

